

学力向上のための重点プラン【中学校】

新宿区立新宿西戸山中学校
【HP公開用様式・中間評価】

中間評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 期末への方策等
<p>○各教科で、電子黒板やデジタル教科書、デジタルドリルを積極的に活用している。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを行っている。</p> <p>▽授業の分かりやすさについて、分析を継続して行っていく。</p>	<p>●個別最適化された学びを行うために、デジタルドリルのさらなる活用方法について検討していく。</p> <p>▼授業の分かりやすさについては、学校評価アンケートを活用し、分析を進める。</p>

学力向上のための重点プラン【中学校】

新宿区立新宿西戸山中学校
【HP公開用様式・中間評価】

中間評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 期末への方策等
<p>【国語】</p> <p>○漢字の小テストを継続的に行い、漢字の書き取りに慣れるように取り組んでいる。</p> <p>○生徒の発達段階や教材に合わせ、ICT機器を使ったり、様々な学習形態で授業を行ったりできている。</p> <p>▽読書活動の場をつくらせていない。</p>	<p>●今後も漢字の小テストを続け、根気強く取り組めるように指導を進める。</p> <p>●今後も「分かる」「楽しい」授業を展開できるように、教材研究を十分に行う。</p> <p>▼学校図書館スタッフと連携を取りながら、図書活動を取り入れる。</p>
<p>【数学】</p> <p>○デジタルドリルを授業時間内外で確保し、利用時間の向上を図っている。</p> <p>○電子黒板やデジタル教科書を活用した課題の提示や視覚的支援を行っている。</p> <p>▽基礎・基本の定着に課題がある生徒がいる。</p>	<p>●今後もデジタルドリルを活用して主体的に学習するように促す。</p> <p>●今後も電子黒板を効果的に活用した授業を展開できるようにする。</p> <p>▼基礎・基本の定着のために、ICT機器を活用しながらスモールステップで授業を展開する。</p>
<p>【理科】</p> <p>○デジタルドリル等を活用して、既習事項の反復練習をする時間を授業時間内外で確保できるよう取り組んでいる。</p> <p>○自ら実験・観察を通して得た結果から分かることについて、話し合い活動を取り入れながら考察させている。</p> <p>▽実験・観察を行う前に既習事項や生活体験を基に根拠を基にした予想を立てる機会が確保できていない。</p>	<p>●今後も既習事項の反復練習をする時間を確保する。</p> <p>●今後も話し合い活動を取り入れながら、考察する時間を確保し、自ら考察できる力を養う。</p> <p>▼実験・観察時に意図的に予想を立てさせる時間を確保する。また、立てさせた予想を考察につなげられるような授業展開を行う。</p>

<p>【社会】</p> <p>○重要事項の小テストを行い、考える活動を行うための知識の定着を図っている。</p> <p>○授業において、ICT機器やデジタル教科書を用いて資料を提示し、それを基にした分析や読み取りが効果的にできるよう取り組んでいる。</p> <p>○事象同士の関係性や相違点を自ら見いだすことができるよう、話し合い活動等を取り入れながら授業を展開している。</p> <p>▽生徒個人がタブレット端末を活用するような授業展開をしていない。</p>	<p>●今後も知識を身に付ける活動とそれを利用する活動とのバランスを保てるよう、小テストを続ける。</p> <p>●より効果的な資料の提示を行っていきけるよう、資料に関する教材研究に一層注力する。</p> <p>●今後は話し合い活動だけでなく、様々な学習形態や学習活動を工夫して考察する力の更なる向上を図る。</p> <p>▼タブレット端末を用いた発表活動や調べ学習を行ったり、デジタルドリルの利用場面をさらに増やしたりし、活用の場を広げる。</p>
<p>【英語】</p> <p>○生徒の習熟の程度に応じ、少人数での学習集団ごとに課題や教材、指導の方法を工夫することができている。</p> <p>○教員は英語による授業展開を行っている。また、ALTと協力し、会話活動を行っている。</p> <p>○デジタルドリルやタブレット端末を使った音読練習、英文課題の作成を行っている。</p> <p>▽単語を書く練習は、授業や家庭学習で行っているが、「書くこと」に対する苦手意識のある生徒がいる。</p>	<p>●生徒の学習状況に応じた手だてに関して教員間の共通理解を図り、教材研究に力を入れ、会話練習、スピーチ、単語テスト、リスニングなどを計画的に行う。</p> <p>●教員の英語力を高め、今後も英語による指導を展開していく。また、生徒の英語使用率を上げるために、ペアやグループでの会話活動及び表現活動を継続して行う。</p> <p>●今後もICT機器を利用した学習を復習等に役立てる。特に、標準クラスにおいては基礎・基本の徹底を図り、発展クラスにおいては応用問題を解く力を身に付けさせる。</p> <p>▼単語テストやノート提出による記述内容の把握から生徒の「書くこと」に関するつまずきを確認し、単語や英文を何度も「書く」練習に加えて、「読む」練習を行う。</p>